

Koka TIMES

— 心を磨き、技を極め、夢に挑む —



進化するAUT

- 高度交通システム(ITS)研究所開設
- 2008 上半期 就職内定状況
- キャンパストピックス
- 卒業生からメッセージが届きました
- 2008 年度行事予定表(10月～3月)

編集/発行

愛知工科大学
愛知工科大学自動車短期大学
入試広報センター

〒443-0047
愛知県蒲郡市西迫町馬乗 50-2
TEL. 0533-68-1135
URL. <http://www.aut.ac.jp/>

高度交通システム ITS研究所 開設

— 道路交通における安全性の向上と環境改善を目指す —

本年度から愛知工科大学工学部および愛知工科大学自動車短期大学において、以下のことを目指していきます。

- ①学内連携:多くの研究分野の融合と研究室、学科、大学・短大の連携が行えること。
- ②大学院学生の研究の場:他の研究室の学生と交流しながら、研究テーマを推進できること。
- ③企業との連携を強化:三河地区や名古屋地区の企業などとの共同研究をすすめること。

これらを実現するため、高度交通システム (ITS) 研究所を開設しました。ITS 研究所は新築された7号館8階で、自動車を中心とした道路交通において重要な課題である、安全性の向上と環境の改善を目指して研究活動をする組織です。工学部と自動車短期大学の教員および共同研究をする外部の方々に構成します。

ITS 研究所に関わる 技術・研究分野

ITSは元来、人が車両を道路で操縦する上においてセンシング・通信・情報処理技術を用いて高度化しようとするもので、技術分野は右の図に示すように多岐にわたっています。

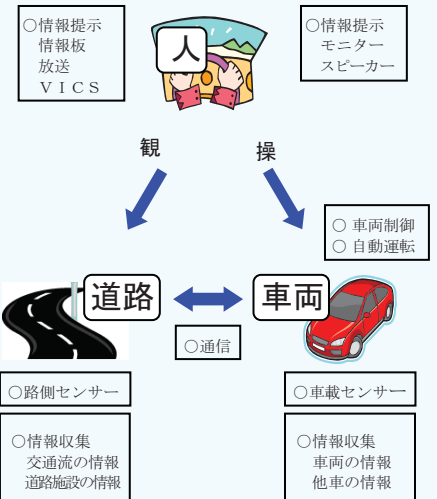
- 画像センサー:交通流計測、交通管制
- 通信:車内LAN、車車間・路車間通信
- ヒューマンファクター:ドライバーの状態、視認性
- ソフトウェア
- 自動車工学、車両制御

ITS 研究所の活動

- ・共同研究 (企業等)
- ・学会、研究会活動 (研究者間の勉強会)
- ・成果報告会 (一般への広報)
- ・設置講座 (学生、高校生、卒業生対象)



ITS 研究所開設記念シンポジウム



ITS 研究所のメンバー

現在は以下の教員が所属しています。

所長:小沢慎治(情報メディア学科 教授)

小塚一宏(情報メディア学科 教授)

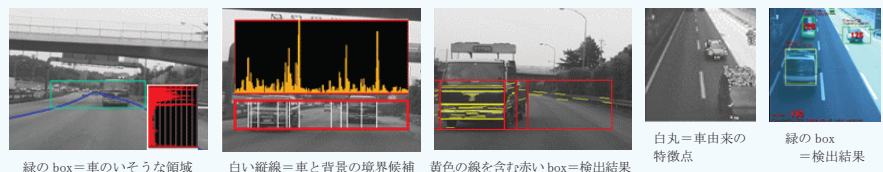
吉田 茂(情報メディア学科 教授)

小林一信(情報メディア学科 講師)

中島 守(自動車短期大学 教授)

○小沢教授の研究例

画像処理で車両を検出する方法を研究しています



緑の box=車のいそうな領域 白い縦線=車と背景の境界候補 黄色の線を含む赤い box=検出結果 白丸=車由来の特徴点 緑の box = 検出結果

○小塚教授の研究例

アイマークレコーダにより、運転中のドライバーの視線移動を実車で計測しています (写真左)。通常運転時、携帯電話操作時 (通話、メール閲覧・返信作成)、エアコン操作時、i-Pod 操作時などの視線を測定し、解析します (写真右)。その他、運転中のドライバーの視野や動体視力の計測なども行っています。



○吉田教授の研究例

(株)富士通研究所から今年4月に赴任しました。同研究所では ITS 研究センターに所属して、車内映像 (DVD, カーナビ, 監視カメラ) の伝送用圧縮技術「SmartCODEC (スマートコーデック)」を開発しました。この技術は LSI に内蔵されて富士通から製品化 (2007年11月) されました。数年後には、この LSI を利用して車内に LAN を一本 (IDB-1394) ひくだけで、多数のチャンネルの映像を楽しめる乗用車が登場してくるでしょう。今後は、データ圧縮技術を用いて、自動車でする組み込み用 CPU システムを省メモリ化する研究などを進めていきます。

進化するAUT

大学院を開設、さらに校舎改修工事スタート — 教育環境の充実を図る —

■愛知技術短期大学として開学

本学は、昭和62年に愛知県蒲郡市に電子工学科、自動車工業学科の2学科からなる愛知技術短期大学として開学。以来、中部経済圏、特に三河・遠州・南信における高度技術者養成のための理工系大学として、社会の要請に応えるべくその整備を進めてきました。

■愛知工科大学・工学部を開設

平成12年には、愛知技術短期大学を改組し、自動車整備士を養成する愛知工科大学短期大学部と、新たに四年制の電子情報工学科、機械システム工学科の2学科からなる愛知工科大学・工学部を開設いたしました。



愛知工科大学開学当時の風景

■学科の改組と短期大学の名称変更

その後、大学開学6年を経過する中で、社会の変化、産業界の技術進化による教育ニーズの変化に合わせて、平成19年に愛知工科大学・工学部の2学科を、機械システム工学科、ロボットシステム工学科、情報メディア学科の3学科へ改組。学科としての特徴をより鮮明に、拡充・整備しました。

また、大学の改組にあわせ、短期大学名を愛知工科大学自動車短期大学と改称。自動車短期大学としての明確な位置づけをして、感性豊かなカーエンジニアの育成のため、自動車工学に特化しました。



7号館9階 コモンルームからの眺望



■建物の増築・大規模改修等がスタート

大学の進化・整備を図る一方で、老朽、狭隘となってきた建物の増築・大規模改修等をスタートさせることとし、その第1期計画である工学部教育研究棟・ホール棟(AUTホール)11,035㎡が、今年5月に完成しました。

大学建物面積は、従来の約1.5倍の規模となり、その施設等内容面においても充実した大学生活が送れるようになりました。

新棟には、ホール棟隣の1階に校友会室、学生会室をそれぞれ設け、見晴らしの良い9階にはコモンルームが設置されており、蒲郡市内と竹島、三河湾が一望できます。



AUTホール



情報メディア実習室



コンテンツ制作スタジオ



光あふれる学生ホール

さらに、建物関係では、短期大学開学25周年に向け、1号館から5号館の全面改修と自動車実習場の建替えを予定し、教育環境の一層の充実に向け、その第1期工事がまもなく始まります。

■大学院を開設

既存建物の全面改修等に加え、今年4月には愛知工科大学に大学院工学研究科システム工学専攻 博士前期課程/博士後期課程の同時開設が認められ、新たにスタートしました。

工学系大学としては無くてはならない先端的かつ高度な教育研究機関として、今後の活動と社会貢献が期待されます。

本学は、社会から喜ばれる知識と技術を持ち、歓迎される人柄を兼ね備えた人材の育成に向けて、更に進化を続けます。



緑に囲まれたホール棟

CAMPUS TOPICS

日本社会精神医学会 優秀賞を受賞

平成 20 年 2 月 29 日 (金)、学生相談室の臨床心理士・助教 加野章子先生が、第 27 回日本社会精神医学会において研究成果を発表し、優秀賞を受賞しました。

■発表演題名

中学生年代の「いじめ」と「抑うつ」との関連について

ロボカップジュニアジャパン 蒲郡ノード大会の運営に参加

平成 20 年 3 月 20 日 (木) に蒲郡市勤労福祉会館にてロボカップジュニアジャパン蒲郡ノード大会の大会運営に、本学から教員 2 名、学生 5 名が参加しました。蒲郡ノード大会は初めての開催で、小中学生 7 チームが熱戦を繰り広げました。

平成 20 年度入学式挙

平成 20 年 4 月 7 日 (月) 平成 20 年度愛知工科大学大学院・愛知工科大学・愛知工科大学自動車短期大学の入学式が満開の桜に迎えられ挙行されました。入学生の皆さん、おめでとうございます。



入学式

学修奨学金を学生に授与

平成 20 年 4 月 25 日 (金) 学修奨学金授与式が行なわれました。学修奨学金とは、本学における学業成績がきわめて優秀な学生に対し、奨学金を給付する制度です。

今回の給付対象者は、工学部 5 名 (10 万円)、短期大学 4 名 (5 万円) の 9 名でした。



内田学長より授与

多数の高校生が 「講義」「実習」を体験

○春のオープンキャンパス

平成 20 年 3 月 26 日 (水)、春のオープンキャンパスが開催されました。

参加者は、気になる学科ごとの会場に分かれて講義を受講。複数学科の講義を選択する姿も見られ、参加した高校生からは、「面白かった」「ためになった」などの感想が聞かれました。



春のオープンキャンパス

○夏のオープンキャンパス

平成 20 年 6 月 21 日 (土)、7 月 19 日 (土)、8 月 9 日 (土)、8 月 23 日 (土) の 4 回、夏のオープンキャンパスを開催



夏のオープンキャンパス

し、約 600 名が参加しました。

模擬講義や体験実習は、参加者の皆さんの興味を主体とした内容で、じっくり本学を知ることのできる内容でした。

研究室開放では、研究室に所属の在学生が取り組む研究内容や、キャンパスライフの実体験などを紹介。参加者の皆さんは、リアルな A UT が体感できたようです。さらに、キャンパスツアーでは、7 号館 9 階コモンルームから三河湾を臨む大パノラマを見学。海を見下ろす美しい景色がたいへん好評でした。

大学院開設及び教育研究棟 完成記念式典を挙

愛知工科大学大学院開設および工学部教育研究棟が完成。平成 20 年 5 月 30 日 (金) に多数の地域・教育関係者に参加いただき、記念式典を行いました。

式典では内田学長が、「地域住民ら学外の方にも活用され、文化、情報、技術の発信拠点となることを願う」と式辞を述べられました。



式辞を述べる内田学長

また、記念講演では、工学部ロボットシステム工学科の中谷一郎教授が「日本の宇宙開発の展望 - 科学技術の先導的役割 -」について講演を行いました。

がまごおりロボット講演会が 開催されました

平成 20 年 6 月 7 日 (土)、蒲郡市民会館東ホールにて「がまごおりロボット講演会」が開催されました。会場には、朝早くから地元企業関係者、市の関係者、一般市民の方々 (約 150 名) が参加され盛大に行なわれました。講演では、トヨタ自動車株式会社理事の高木氏によるさまざまな最新のパートナーロボットの紹介や、本学ロボットシステム工学科の中谷教授による惑星探査で活躍する宇宙ロボットについて、貴重な写真やビデオ映像を取り入れた講演が行なわれ、



講演会の様子

多くの聴講者から質問をいただききました。

また、展示コーナーでは、マインドストームを使ったロボカップジュニアの紹介やロボット教室などが行なわれ、小さな子供から大人まで、ロボットの楽しさに触れて頂くことができました。来年も開催する予定です。興味がある方は是非参加してください。

道路交通法改正で自転車運転中の「携帯電話の使用」「傘さし運転」が禁止となりました

小塚教授が実験で危険性を実証 - テレビや新聞で大きく取り上げられました -

6月の道路交通法改正で、「携帯電話を使いながら自転車を運転することの禁止」「傘をさして片手で自転車を運転することの禁止」となりました。そこで、工学部 情報メディア学科 小塚一宏教授が危険性について実験によって実証し、名古屋テレビ、NHK名古屋放送局、中日新聞で大きく取り上げられました。

○名古屋テレビ

今回の取材は、前回の「自転車走行中に携帯電話を使用する場合の危険性実証」に続いての取材でした。

学内において、主婦とアナウンサーが被験者となり、自転車に傘立て器具を取り付けた場合と、傘を片手で持った場合の危険性をアイマークレコーダで計測



名古屋テレビの取材・実験風景

し、コンピュータで解析しました。傘を片手で持った運転は、風が強い場合など非常に危険なことが実験で証明。この様子は、名古屋テレビの【UP!】で6月24日に放送されました。

○NHK名古屋放送局

自転車運転中の携帯電話（通話、メール）操作の危険性を視線計測によって実験・検証し、NHK総合テレビの【ほっとイブニング】7月22日（名古屋放送局）、【おはよう日本】7月25日（全国放送）で放送されました。

○中日新聞

平成20年6月19日（木）夕刊に取り上げられました。



※この掲載は中日新聞社の許可を得ています

安城南高等学校の3年生が 体験実習に訪れました

平成20年6月10日（火）、安城南高等学校の3年生が総合学習の時間に自動車工業学科の実習を体験し、学内を見学しました。

体験したのは「ホンダ製4サイクルエンジンの組み立て実習」。生徒は1人1台のバラバラに分解された単気筒エン

ジンを組み立てました。4時間におよぶ実習でしたが、興味を持って真剣に取り組んでいただきました。

参加された皆さんから「人生初のエンジンの組み立てはとても楽しかった」「貴重な体験ができた」「自分で組み立てたエンジンがかかった時は感動した。校舎がとても綺麗だった」「進路を新たに見つけることができました」との感想をいただきました。

いかだレース大会に初出場

平成20年7月6日（日）、蒲郡市で開催された「第9回三河大島いかだレース大会」で「いかだレース同好会」の学生が出場しました。

このレースは、三河湾に浮かぶ無人島「三河大島（蒲郡市）」の権利をめぐり、



いかだを漕ぐ学生たち

市内各地から一斉に船を漕ぎだし競いあった『しまとり話』が由来。勇敢な湾上レースの再現により“海のまち蒲郡”を観光PRしようと平成12年から行われています。

本学は「一般レース部門」に参加。午前9時25分に竹島埠頭（蒲郡市）を出発。3時間以内で三河大島までの往復（約8Km）完走を目指しましたが、三河大島から戻ろうとしたところでタイムオーバー。残念ながら完走はできませんでしたが、初出場で三河大島まで到着でき、大健闘でした。

仲間たちで設計・製作し、腕が痛くなっても諦めずにいかだを漕いだ経験が今後活かされることでしょう。

工作機械技術振興賞（奨励賞） を受賞しました

平成20年3月に工学部機械システム工学科を卒業した猪飼幸寛さんと織田直樹さんによる卒業論文、「極微量植物油エマルジョンミストによる環境対応平面研削加工について」（指導教官 松原十三生 教授）が、工作機械の技術向上に大いに役立つものと評価され、工作機械技術振興財団の第29回工作機械技術振興賞・奨励賞を受賞。平成20年6月16日（月）に東京霞ヶ関ビル 東海大学交友会館で授賞式が行われました。

本年度、同賞を受賞したのは、本学、大阪大学、金沢工業大学、東京大学、東京農工大学、日本大学、米子工業高等専門学校の7校でした。



授賞式会場にて

幸田高等学校との 高大連携授業を開催

平成 20 年 8 月 4 日 (月)、地元の幸田高等学校と本学情報メディア学科による高大連携授業が開催されました。

授業では、「パソコンの組み立て」を 35 名の生徒が体験。本学の学生もサポートして、実際のパソコンを組み立てながら、パソコンの構成について理解しました。



パソコンを組み立てる幸田高校の生徒

卒業生から メッセージが届きました



機械システム工学科

平成 18 年度卒業生

藤井 忠幸 さん

出身地

石川県白山市

卒業後の進路

金沢大学大学院博士前期課程

自然科学研究科 人間・機械科学専攻

今後の進路

新日本製鐵株式会社

現在の状況

私は、愛知工科大学卒業後、地元の石川県にある金沢大学の大学院へ進学しました。現在大学院の研究テーマとして、脳外科手術用の多自由度マニピュレータ (簡単に言えば手術ロボットのような

Dream Cup ソーラーカーレース鈴鹿 2008

平成 20 年 8 月 2 日 (土)、3 日 (日) Dream Cup 鈴鹿 2008 に参戦。今年は、カウル一体化などで、15 キログラムを軽量。さらにタイヤ交換などが容易になるよう改良しました。過去のデータから、1 周あたりの消費電力を計算し、30 周を目標に走行しました。レースでは、タイヤのバーストなどのトラブルを乗り越



レースの様子

え 4 時間完走することができました。

レース直後のドライバーやメカニックは、「面白い。もっとレースに参加したい」と興奮が止まらないようでした。

堀川エコロボットコンテスト 2008 「名古屋堀川ライオンズクラブ会長賞」受賞

平成 20 年 8 月 24 日 (日) 名古屋市北清水親水広場で開催された「堀川エコロボットコンテスト 2008」に千葉研究室の学生で結成した「チーム：AUTエコロジスト」は、微細気泡を水中に撒きなが

ら進む双胴船「ギンギラギン」で参加し、特別賞として「名古屋堀川ライオンズクラブ会長賞」および一般賞「シルバー賞」を受賞しました。

■参加メンバー

機械システム工学科 4 年 浅井浩太、
渡部啓、三井崇裕、田中佑弥
教授 / 千葉規胤

もの)の開発を手がけています。忙しい毎日ではありますが、毎日が新鮮でとても充実しています。私は、これまでの約 1 年半の大学院生活で、日々感じていたことがありました。それは、「学部時代に得た知識が、実際もの作りにおいてどのように役立つか」です。学部時代には、「座って話を聞きながらノートをとり試験に向けて勉強する」の繰り返しで、このような知識が実際どのように使えるかはイメージが出来ませんでした。ところが現在、研究を進めていく中で、「あの授業の内容がここで役に立つんだなあ。」と気づくことが多々あります。そのようなことを日々実感しながら院生生活を送れているので毎日が本当に充実しています。私は、来年就職することが決まりましたが、就職前にこのような経験が出来ているということは、とても強みになると思います。そういう意味で、私にとって現在の院生生活はとても大きな財産であると考えており、進学を勧めてくださった先生方にとっても感謝しております。

今後の目標

数多くの支えのおかげで、就職活動も無事今年の 4 月に希望企業から内定を頂きました。晴れて来春から新日本製鐵株式会社に入社の予定です。

今後は、産業そのものを支えている、鉄の世界で思いっきり走り回りたいと思います。そして日本の産業を自分達が牽引していくという意識を常に持ち、慢心することなく日々精進していく考えです。そして、企業での経験を元に、いずれは教員として、愛知工科大学に恩返しが出来れば幸いですと考えています。

後輩の皆さんへの助言

先生方や、友達、あるいは地域の方々など多くの「出会い」を大切にしてください。私が愛知工科大学の 4 年間で得た一番の財産は？と聞かれると間違いなく「出会い」と答えます。在学中は数多くの先生方に助言を頂き、多くの友達に支えられ、金沢大学の大学院に入学することが出来ました。そして私は「工科大での出会い」に今も救われています。就職活動や大学院での過ごし方など、先生方や友達は今でも貴重な助言をくれたり、相談に乗ってくれたりします。工科大学には、卒業後も一生私達の味方でいてくれる多くの「出会い」があります！是非後輩の皆さんには一つ一つの「出会い」を大切に学生生活を過ごして欲しいと思います。

研究室訪問

— ロボットシステム工学科 中谷研究室 —

わが国は小惑星探査機「はやぶさ」や月探査機「かぐや」で、月・惑星探査に本格的に取り組み始めました。今後、惑星表面を調査・観測するためには、自分で環境を認識し、判断をする賢い宇宙ロボットの開発が重要な課題です。

たとえば火星で活躍するロボットは地球からの電波伝搬遅れが最大で往復40分を越えます。したがって、地球からのラジコンによるリアルタイムの制御は成り立ちません。宇宙ロボットの知能化が必須技術です。また、未知の環境で、しかも不整地を移動するロボットにはタフな移動メカニズムが要求されます。

一方、地上のロボットは、今はまだ工場や大学の研究室にしかありません。しかし、今後、ロボットは工場を飛び出して、家庭、店舗、駅、空港、病院、介護施設など、私たちの身近なところへどんどん進出していくことでしょう。ちょうど、30年前のコンピュータが、大型計算機センターにドンと置かれていたのが、現在のパーソナルコンピュータとなって普及したように、パーソナルロボットが日常生活の中に溶け込んでいくことになるでしょう。

マイクロソフトの生みの親ビル・ゲイツは、過去30年間のコンピュータの爆発的な発展により社会が大きく変革したが、次の30年間の社会の変革の担い手はロボットであると预言しています。

宇宙ロボットは、その意味で、極限的な環境で先端的な技術開発をすることにより、日常生活にロボットが入っていくための先導的な役割を果たしていくでしょう。

私の研究室では、宇宙ロボットの研究を出発点として、それを地上に応用することを目標としています。数多くある研究テーマの中から主なものを紹介しましょう。

- ・ 岩石やクレータのある不整地の走行メカニズム (惑星表面)
⇒ 段差の乗り越え、階段の昇り降り、小さな障害物の乗り越え (地上)
- ・ 障害物の認識
⇒ ステレオカメラ、レーザ測距器、ソナー (地上) などを用いて走行に邪魔になる障害物と、乗り越え可能な障害物を判別する。単なる判別ではなく、地上の場合は、環境が変化する。たとえば、複数の人間が行き来したり、椅子の位置が動いたり、今までなかった荷物が追加されたりするのがその例である。そのような環境の変化にダイナミックに対応する必要がある。

Profile

中谷 一郎
教授・博士 (工学)

[専門] 制御工学、ロボット工学、
宇宙探査工学

[経歴] 電電公社電気通信研究所、
宇宙航空研究開発機構、
東京大学大学院



・ 環境の理解

⇒ 周囲の物体を単なる障害物と見るのではなく、その性質を理解し行動に反映する。例えば、椅子は座るものであり小さい範囲での移動が前提になっている、ロープは進入を禁止するためにある、ここにいる犬は仮に座っているに過ぎない、ゴミ箱は不要なものを捨てるためにある・・・などなど)

・ 自己位置同定

⇒ カメラやさまざまなセンサを用いて周囲環境を認識し、自分のいる場所を特定する。

・ 経路計画

⇒ 自己位置から目標点へ至るまでの最適な経路を判断する。ここで「最適」とは、ゴールに到達する時間の最短化、消費燃料最小化、危険最小化、途中でする仕事の質の最大化、などなどさまざまな評価関数を設定することができる。また必要に応じてゴールの途中にある障害物の移動・除去やドアの開閉などを行う。

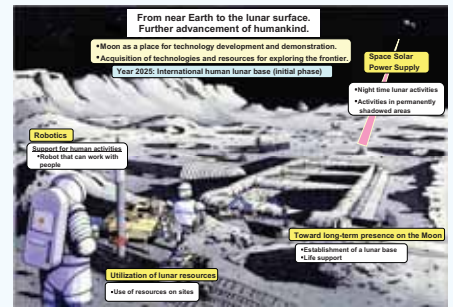
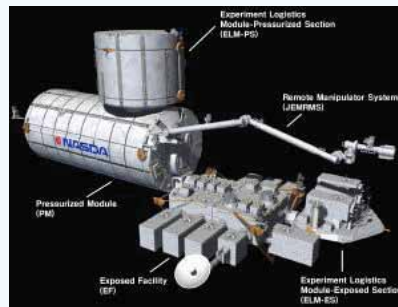
・ 行動計画

⇒ 予めプログラムされた予定の行動をとるのではなく、周囲状況を理解して、ロボットが自律的に行動を考え、目標を達成するためのスケジューリングを行う高度の人工知能技術。

・ ロボット自身の故障診断と修理

⇒ ロボットの設計者の持つ知識をロボット自身に教えて、エキスパートシステムと呼ばれる手法を用いて故障箇所を診断し、管理者に報告する。さらに、診断結果に基づいて、部品の交換、消耗品の補充、など自ら修理できる箇所は修理する。

いろいろな技術課題に言及しましたが、一言で言えば賢いロボットを創るということになります。人間の社会を根底から変えてしまうようなロボットが街角に日常的に見られるようになるのもうすぐかもしれません。



平成 20 年度 年間行事予定表 (10 月～3 月)

10 月			11 月			12 月		
日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事
1	水	M2 授業開始	1	土		1	月	
2	木	DK3 第 3 回就職ガイダンス	2	日		2	火	
3	金	M1 就職講座① M1 第 1 回就職模試	3	月	文化の日	3	水	
4	土		4	火		4	木	DK3 健康診断
5	日		5	水		5	金	
6	月		6	木		6	土	
7	火		7	金	M1 就職講座②	7	日	
8	水		8	土	公募制推薦入学試験 (大学・短大)	8	月	
9	木	DK3 第 4 回就職ガイダンス	9	日		9	火	
10	金		10	月		10	水	中古車査定士試験 M1 休講
11	土	3 年次編入学試験 (大学/2 期)	11	火		11	木	DK3 第 7 回就職ガイダンス
12	日		12	水		12	金	M1 第 2 回就職模試
13	月	体育の日	13	木	DK3 第 4 回就職模試 (SPI)	13	土	自己推薦入学試験<後期> (大学・短大)
14	火	教育懇談会 (本学)	14	金	M1 就職講座③	14	日	
15	水	教育懇談会 (本学)	15	土		15	月	
16	木	教育懇談会 (本学) DK3 第 2 回就職模試 (SPI)	16	日		16	火	
17	金	教育懇談会 (本学) M12JKR12DK34 院 大学祭準備のため午後休講	17	月		17	水	
18	土	教育懇談会 (本学) 大学祭	18	火		18	木	DK3 第 8 回就職ガイダンス
19	日	教育懇談会 (本学) 大学祭	19	水		19	金	M2 後期授業終了
20	月	代休日	20	木	DK3 第 6 回就職ガイダンス	20	土	体験入学 (短大)
21	火	教育懇談会 (本学)	21	金		21	日	
22	水		22	土	自己推薦入学試験<前期> (大学・短大)	22	月	M12JKR12DK34 院 学生冬期休暇 (開始)
23	木	DK3 第 5 回就職ガイダンス	23	日	勤労感謝の日	23	火	天皇誕生日
24	金	JKR12DK34 院 午前休講	24	月	振替休日	24	水	
25	土		25	火		25	木	
26	日		26	水		26	金	
27	月		27	木		27	土	
28	火		28	金	M1 学内企業説明会 M1 説明会のため休講	28	日	
29	水		29	土		29	月	
30	木	DK3 第 3 回就職模試 (一般常識)	30	日		30	火	
31	金	M1 健康診断				31	水	

表中の記号について

表中の K、R、J、M、D は学科を数字は学年を表します。

K : 機械システム工学科

D : 電子情報工学科

R : ロボットシステム工学科

J : 情報メディア学科

M : 自動車工業学科

院 : 大学院

1 月		
日	曜	行事
1	木	元旦
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	M12JKR12DK34 院 学生冬期休暇 (終了)
10	土	
11	日	
12	月	成人の日
13	火	M1JKR12DK34 院 冬期休暇明け授業開始 M2 認定講習
14	水	M2 認定講習
15	木	M2 認定講習 DK3 第 9 回就職ガイダンス
16	金	M2 認定講習
17	土	
18	日	
19	月	M1 午後休講 M2 後期定期試験
20	火	M1 午後休講 M2 後期定期試験
21	水	M1 午後休講 M2 後期定期試験
22	木	DK3 第 10 回就職ガイダンス
23	金	M1 就職活動状況調査①
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	M1 後期定期試験
29	木	M1JKR12DK34 後期定期試験
30	金	M1JKR12DK34 後期定期試験
31	土	一般入学試験<前期> (大学A日程・短大) センター利用入学試験<前期> (短大)

2 月		
日	曜	行事
1	日	一般入学試験<前期> (大学B日程)
2	月	M1JKR12DK34 後期定期試験
3	火	M1JKR12DK34 後期定期試験
4	水	JKR12DK34 後期定期試験
5	木	JKR12DK34 後期定期試験
6	金	JKR12DK34 後期定期試験 M1 学生朝礼
7	土	
8	日	
9	月	JKR12DK34 後期定期試験 KRJ2 第 2 回就職模試 (SPI) DK3 第 11 回就職ガイダンス
10	火	
11	水	建国記念日
12	木	M1DK3 学内企業説明会
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	JKR12DK34 学生朝礼 DK3 卒研ガイダンス
17	火	
18	水	販売士試験
19	木	
20	金	D4 卒研発表会
21	土	一般入学試験<中期> (大学・短大)
22	日	
23	月	
24	火	K4 卒研発表会
25	水	
26	木	M2 卒業判定結果発表
27	金	
28	土	

3 月		
日	曜	行事
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	一般入学試験<後期> (短大) センター利用入学試験<後期> (短大)
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	DK4 卒業判定結果発表
12	木	
13	金	M2DK4 卒業式練習
14	土	卒業式
15	日	
16	月	M2 認定講習修了式
17	火	
18	水	一般入学試験<後期> (大学)
19	木	
20	金	春分の日
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	春季オープンキャンパス
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

平成 21 年度入学式
4 月 7 日 (火)

INFORMATION

お知らせ

学生課

平成 20 年 10 月 18 日 (土)、19 日 (日) の両日、大学祭 (AUT 祭) を開催します。今年のテーマは「よりみち」です。

主な催し物は、18 日 (土) 午後: 文化講演会 (AUT ホール)、ANARCHY STONE ライブ (屋外ステージ)、19 日 (日) 午後: 吉本興業お笑いライブ (屋外ステージ)。両日とも、模擬店、学科展、研究室等公開のほか、楽しいイベントが盛りだくさんです。

多くの皆様のご来場をお待ちしています。

教務課・学務課

○平成 20 年度教育懇談会報告

教育懇談会は、本学と保護者との連携をもとに相互理解を深め、学生への指導に役立てるため実施しています。

本年は、7 月 5 日 (土) ~21 日 (月) の間に富山、長浜、高山、長野、松本、飯田、尾鷲、金沢、福井、沼津、浜松、静岡の 12 会場で実施しました。

教育懇談会では、大学院、大学、短期大学併せて 102 名の保護者が出席され、日頃の学習状況、進級、卒業、地元への U ターンを含めた就職について多くの相談がありました。

また、平成 20 年度より開設された本学の大学院工学研究科を含む大学院への進学状況などの質問も目立ちました。

10 月 14 日 (火) ~24 日 (金) の間に

本学を会場とした教育懇談会を実施します。10 月 18 日 (土)、19 日 (日) には大学祭も開催されます。保護者の皆様の多くのご参加をお待ちしております。

○新棟での大学院、工学部授業スタート

大学院および工学部の授業が 6 月 16 日から新棟 (大学院・学部研究棟<7 号館>) で開始されました。新棟全ての講義室や実習室には AV 機器が設置され、黒板や机も大きく、床はカーペット張りなど、快適な環境のもとで授業が行なわれます。大学院生には研究室があり、最新のパソコン等も設置され、恵まれた環境のもとで研究が行なわれています。

また、短大の建物・設備も順次、改修が行なわれ、工学部同様、快適な教育環境が整備される予定です。

事務局

愛知工科大学および愛知工科大学自動車短期大学は、文部科学省所管の大学法人であることから、私立学校法を遵守することを基本としています。全体収入の大部分が授業料等の学生生徒納付金収入となっていることから、その財務状況をお知らせいたします。

平成 19 年度の財務計算に関する書類から、法人全体、愛知工科大学と愛知工科大学自動車短期大学の資金収支計算書及び消費収支計算書と、学園監事の監査報告書の写しを併せてお知らせします。

【資金収支計算書】平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

Table with 4 columns: 大科目, 法人全体, 愛知工科大学, 愛知工科大学自動車短期大学. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

【消費収支計算書】平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

Table with 4 columns: 大科目, 法人全体, 愛知工科大学, 愛知工科大学自動車短期大学. Includes sections for 収入の部 and 支出の部.

監査報告書

学校法人 愛知学園
理事長 中村
副理事長 中村

平成 20 年 6 月 27 日

学校法人 愛知学園

監事 坂部 敬彦
監事 那須 一敏

本学と愛知工科大学自動車短期大学の監事は、私立学校法第 7 条第 3 号及び学校法人監事の職務執行規則第 15 条に基づき、学校法人愛知学園の平成 19 年度 (平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで) の業務及び財務の状況について監査いたしました。

監査の方法は、理事会及び評議員会に出席するほか、必要から業務の帳簿を閲覧し、取扱いの取捨選択等を閲覧し、主要な関係書類において業務及び財務の状況を調査し、計算書類につき監査を行いました。

監査の結果、学校法人愛知学園の業務に関する取扱い及び執行は適法であり、計算書類上及び、資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び損益計算書は、会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財務の状況を正しく示しており、学校法人の業務及び財務に關し、本日の報告は他各該しは影響を及ぼさず、また、本報告書に記載の事項は、本報告書に記載の事項と一致するものと認められます。

キャリアセンター

■2010 年卒の就職活動が始まる！ ～勤労観と職業観を高めよう～

円高や原燃料高、アメリカ経済の減速から、国内景気にも陰りが見え出し始めました。原材料高の価格転嫁は容易でなく、企業業績にも影響しています。

ここ数年、ものづくり業界を支える技術者採用では、学生優位の売り手市場が続いていましたが、今後は確実に求人が減り、採用基準も厳しくなります。学生は業界・企業研究をしっかりと行ない、「入社したらこんな仕事に挑戦したい」という、やる気と具体的な職業観、それを裏付ける学力を備えなければ内定は勝ち取れません。

いよいよ就職活動がスタートします。本学の特徴である担任制やゼミ教授との連携によって、早期に内定が得られるよう学生支援に努めます。

大学

工学部3年の第1回就職ガイダンスを8月6日に開催しました。

テーマは、「就職活動の準備と流れ」です。企業へのエントリーから採用試験、内定に至るまでの流れについて解説しました。同時に成績・能力・興味・性格から職種との適性を発見する「適職診断テスト」を実施し、自己分析・自己理解の促進を図りました。

この日、はじめて「就職」を意識する学生がほとんどで、会場は熱気と緊張感に包まれていました。



第1回就職ガイダンス

短期大学

自動車メーカー講演会が、7月15日から3日間の日程で開催され、全国から多くの自動車メーカーが訪れました。

自動車業界を目指す学生には絶好の機会となり、メーカー独自の最新技術や燃費の改善、排出ガスの低減、リサイクルの推進などを勉強しました。

メーカー担当者からは、実際の整備士の仕事現場を紹介しながら、販売会社で働くことのやりがいや仕事の醍醐味にも触れられ、学生の未来（進路）はぐっと近づいたことと思います。



自動車メーカー講演会

エクステンションセンター

学生の資格取得を支援することおよび大学の知的物的資産を活かした地域社会貢献することを目的として、精力的に活動しています。

学生の資格取得支援のために、機械、電気、情報、自動車、船舶、語学など、さまざまな分野の有用な資格を調査検討して、円滑な資格取得の道筋をつけています。これにより、多くの学生諸君が当センターの資格講座を受講して成果を挙げています。

昨年7月の創立に関係した蒲郡少年少女発明クラブの講座指導、蒲郡市生涯

学習講座の開講などには、社会貢献事業の大きな柱として今後も大いに協力していきたいと考えています。今年度は、愛知県のモデル科学技術教室への企画提案にも応募・実施を予定しており、地域社会貢献のさらなる充実を目指して活動していきます。



ガス溶接技能講習の様子

ものづくり工作センター

平成20年度事業として、次のような計画の下に活動しています。

1. ものづくり工作センター職員(3名)を顧問にして、廃棄または中古機器の修理、再利用を目的にした「FRC」同好会を5月に立ち上げました。
2. 大学祭期間中(10月18日、19日)、近隣の小中学生を対象に、コンピュータと立体プリンターを用いた「3次元立体形状モデル製作グランプリ大会」をアビスト社の協力を得て開催します。
3. 10月14日から4回(隔週火曜日18:00~20:00)、蒲郡商工会議所で「機械加工講座」(主催 蒲郡商工会議所、蒲郡鉄工会)を開催予定。
4. 平成21年1月5日開催予定の「幸田風揚げ大会」に本センターが参加協力。
5. 校舎改修工事で現在2号館の「ものづくり工作センター」を平成20年度末までに1号館へ移設予定。

平成20年4月~7月までの「ものづくり工作センター」利用状況は、総数87件、延べ258人でした。

入試広報センター

『大学入試センター利用奨学金制度』がスタートしました。この制度は、本学を志願する受験生が「大学入試センター試験」において、本学が指定する受験科目の内、いずれか1科目が100点満点中80点以上であれば入学時に奨学金を給付するものです。センター試験での受験生のほか、AO入試や推薦入試での

受験生も大学入試センター試験を受験すれば応募資格が得られます。

受験生の皆さん、ぜひチャレンジしてください。

○センター受験指定科目(いずれか1科目)

大学: 数I、数I・A、数II、工業、情報、国語

[近代以降]、英語、現社、物I、化I

短大: 数I、数I・A、数II、工業、情報、

○給付金額

大学: 720,000円 短大: 694,000円

メディア基盤センター

学内のキャンパスネットワークは、6号館3階 メディア基盤センターのルーター、サーバ室を中心に学生、教職員向けに構築されています。

センターには、コンピュータを用いた授業を行う実習室があり、学生が自由にインターネット利用の自習ができます。スタッフルームには、助教、技術員の2人がおり、学生、教職員からのハード・ソフトについての相談に対応しています。また、視聴覚などのAV機器対応もしています。

新棟7号館5階には、ソフトライブラリー、サーバ室、メディアスタジオが新設され、メディア基盤センターの分室も設置されています。また、マルチメディア教室も2教室増設されています。本学のコンピュータ、ネットワークの情報環境はさらに充実されつつあります。



自習ルーム
(写真上)



サーバ室
(写真右)

産学連携センター

平成 20 年度事業について

・豊川商工会議所 産学官交流サロン 21 例会 (平成 20 年 6 月 2 日) で、「今後のものづくりの動向」のテーマで講演を行いました。

・文部科学省産学官連携戦略展開事業「戦略展開プログラム (特色ある優れた産学官連携活動の推進)」(原則 5 年間); (実施機関名) 静岡大学・豊橋技術科学大学、(連携機関) 愛知工科大学ほか) の事業説明会 (平成 20 年 7 月 1 日) 及び戦略展開プログラム発足式 (平成 20 年 8 月 1 日) に参加しました。

・蒲郡市の企業の技術者、実務者および一般市民を対象として、第 10 回公開講座 (平成 20 年 7 月 31 日) を開催しました。

・蒲郡市と岡崎市の企業の技術者、実務者を対象として、機械設計製図講座 (平

成 20 年 7 月 12 日～19 日の間) を開催しました。また、機械加工講座 (平成 20 年 10 月 14 日から 4 回、隔週火曜日 18:00～20:00) を開催する予定です。

・東西三河地域の企業の経営者、技術者、実務者を対象として、「第 2 回ものづくりフォーラム～今後のものづくりを考える～」を平成 20 年 11 月 7 日に本学 AUT ホールで開催します。このフォーラムは、愛知工科大学・愛知工科大学自動車短期大学、蒲郡技術科学振興会、蒲郡鉄工会共催。蒲郡商工会議所ほか、近隣の商工会議所、蒲郡市などの後援で開催する予定です。これらの事業に関心のある方は参加してください。大いに歓迎します。

・大手機械メーカー、自動車メーカー等との共同研究、委託研究等を実施 (一部は実施準備中) して、これらの産学連携事業も推進中です。

図書館

5 月 1 日現在の蔵書数 33,061 冊。本年度約 300 万円の図書購入経費を計上し、現在 368 冊を発注済。4 月から 7 月までの入館者数は 10,300 人でした。

本年度より図書館 H P を立ち上げ、学内外からの図書検索、利用および連携を実現。図書館内を無線 LAN にしました。科学振興機構文献情報検索の電子ジャーナル化を本年 10 月中に実現予定です。10 月 3 日 (金) には、蒲郡市などの協賛を得て、第 1 回文化講演会を開催します。

基礎教育開発支援センター

工学専門教育を受ける上で数学・物理・英語などの基礎学力は極めて重要です。これらの力を向上させたいと希望する学生に対し、それぞれの学力レベルに応じた個別指導をホール棟 2 階の「基礎教育開発支援センター」で実施しています。気軽に訪れ利用して下さい。お待ちしております。

また、後期から新たに教員が着任し、新しいサービスを始める予定です。ご期待下さい。

AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭
10 月 18 日 (土)、19 日 (日)
大学祭が開催されます！！
 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭 AUT祭

テーマは「よりみち」です。
 気軽に寄っていきませんか？

今年も開催される AUT 祭。無料ライブをはじめ、楽しいイベントが盛りだくさん。学生といっしょに盛りあげましょう。

18 日 (土)

・第 2 回 AUT 文化講演会 (AUT ホール)
「今、宇宙が面白い」 ～月・火星の基地建設をめざして～
 講師：ロボットシステム工学科 中谷一郎 教授 13:00 から

「環境にやさしいガソリンエンジン」

講師：機械システム工学科 梶谷満信 教授 14:00 から

「メカライフの世界」展～自然エネルギーに親しもう～ (2 号館ロビー)
 「ANARCHY STONE」ライブ (屋外メインステージ：午後)

19 日 (日)

「吉本興業お笑いライブ」 出演者は乞うご期待！！
 (屋外メインステージ：午後から) -観覧無料-

両日共通

「学科展」 機械システム工学科/ロボットシステム工学科/
 情報メディア学科/自動車工業学科
 「研究室・実験室公開」 卒業研究展示・おもしろ実験にチャレンジ
 「蒲郡少年少女発明クラブ作品展」(ホール棟)「愛知県モデル科学教室」(7406 教室)
 「模擬店」 やきそば・たこやき・おでん・フランクフルト etc